

令和7年度 11月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	14回
2 延べ従事補導委員数	56人
3 相談件数	0件
4 補導した少年数	0人
5 声かけ人数	253人



11月の活動日誌から

11月4日（火）

9班（A・M）記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 取出町ふれあい公園 → パチンコ店
→ 泉団地内の公園 → 泉児童館 → 生涯学習センター

活動の様子

一段と肌寒さを感じる中での巡回でした。生涯学習センターでは、1階のつどいの広場で小学生9名がゲーム機などで遊興中、高校生2名は学習中、2階の学習室で中学生2名と高校生2名は学習中でした。東田公園と取出町ふれあい公園と泉団地内の公園は無人でした。パチンコ店を訪問し、店員にお聞きしたところ、未成年者の入場は規制し、必要に応じて身分を確認しているそうです。また、駐車場での車内に幼児を乗せたままの遊興がないよう、店員が1時間に1～2回ほどの見回りをしているそうです。泉児童館では、小学生74名（入退出帳確認）がそれぞれ元気に遊んでいました。時々、保護者の送迎の車が出入りしていました。



11月5日（水）

5班（O・S）記

巡回経路 大型スーパー → ゲームコーナー① → ゲームコーナー②
→ 曽根公園 → 仙禄湖公園 → 久保田公園 → ねむのき公園
→ 近津南公園

活動の様子

11月に入り15時30分からの巡回活動となりました。そのためか大型スーパーのゲームコーナー2カ所とも、子どもの姿はありませんでした。曾根公園、仙禄湖公園、久保田公園と回りましたがだれもいませんでした。ねむのき公園には、中学生男子生徒3人が遊具で遊んでいました。話しかけると、1年生とのことで学校内でも変わったことはなく、楽しく過ごしているようでした。公園脇に中学生女子生徒5人がおり、部活動でがんばっていると話してくれました。近津南公園では、6人の女子児童が遊具で元気に遊んでいまし

た。公園に時計の設置を希望する声もありました。

11月6日（木） 学校訪問(長野西高等学校望月サテライト校)

19班 (S・H) 記

概要

応接室にて副校長に対応いただきました。特色ある学びの形式で生徒と対応されており、今年度、71名の新入生を迎えたそうです。また、前期(4～9月)、後期(10～3月)の2学期制の運用を今年度より開始したとのことです。授業では地域とともに活動する植栽、書道、福祉などにも取り組んでいると話してくださいました。生徒は全体的に落ちついているようです。部活動は総合文化部・総合運動部の2つの活動があるそうで、運動部の女子バドミントン部と男子卓球部が全国大会出場を果たしたとのことです。他にも体験発表会の全国大会に出場する生徒もいると話されていました。学校の特色として生徒の年齢層に幅はありますが、良い学生生活を送るための思いを感じる訪問となりました。



11月7日（金） 街頭啓発(岩村田駅)

2, 3班 (K・A) 記

概要

岩村田駅前で「信州あいさつ運動」の街頭啓発を行いました。2, 3班合同で、専門補導委員と少年センター事務局職員も合わせて大人数での活動となりました。生徒、会社員の方、車で駅まで家族に送ってもらった生徒さんたちに青少年健全育成の『リーフレット』と『ウェットティッシュ』を配りながら「おはようございます」「行ってらっしゃい」と声かけをしました。何も言わず避けて行ってしまう方もいましたが、大半の方があいさつを返してくれました。生徒さんの元気な声を聞くこちらも朝から爽やかな気分になりました。待ち合わせをしているのか、寒い中、駅舎の外に5, 6名の生徒さんがずっと立っていました。駅には待合室もありますが、あまり利用していないようです。



11月10日（月）

14班 (S・T) 記

巡回経路 横町公園 → 平賀新町公園 → コンビニ店 → 佐久総合運動公園
→ 成知公園 → 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園
→ 佐太夫町公園 → 中込駅 → 中込会館

活動の様子

秋も深まり、冬の到来も身近に感じる時季での巡回補導となりました。中込地区の公園を中心巡回しましたが、ほとんどの公園には人影がなく成知公園にのみ小学生、中学生が数名元気に遊んでいました。声かけをすると、皆元気にあいさつを返してくれました。中込会館では、受験生数名が自習室で勉強をしていました。「電車待ちの間ここで勉強している」とのことでした。今回の巡回で気になったことは、8月巡回時と同様、中込駅前のスペースに駐輪禁止にも関わらず、数多くの自転車が停められていることです。その多

くの自転車は高校生のものと思われますが、安全面においても、また、景観的にもよろしいとは言えないで、早急に何らかの対策を講じた方がよいかと思いました。

11月11日（火）

4班（W・T）記

巡回経路 大型スーパー → ゆりのき公園 → 枇杷坂公園 → 小田井児童館

活動の様子

街路樹が葉を落とし始めた。ゆりのき公園、枇杷坂公園の見回りを行ったが、どちらの公園にも子どもたちはいなかった。この季節になると、屋外で見かける子どもの姿はめっきり少なくなる。小田井児童館へ向かう途中、佐久長聖中学校の生徒だろうか、10人ほどが引率の先生の下、歩道のゴミ拾いを行っていた。小田井児童館では、低学年児童を中心に、20人ほどの児童があり、宿題をしたり、遊戯室でボール遊びをしたりと、思い思いに過ごしていた。通学している佐久平浅間小学校から離れているこの地区の児童の保護者にとって、この児童館の存在は、とてもありがたいことではないかと思った。

11月12日（水）

12班（K・F）記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園 → 安土倍神社境内公園
→ 野沢体育センター → 旧大沢小学校 → 取出町ふれあい公園
→ 生涯学習センター

活動の様子

イチョウが黄色に、ドウダンツツジ・カエデが真っ赤に色づき、秋真っただ中、小春日和の日の巡回活動を行いました。今回は、これまでに巡回したことがなかった“安土倍神社境内の公園” “野沢体育センター” “旧大沢小学校”を含めて巡回しました。生涯学習センターの一階においては、これまでの騒がしさではなく、落ち着いた状況の中で、中・高校生のほかに成人数名が利用していて、小学生の姿は見当たりませんでした。二階の学習室では、利用者が少なく、いつもと同じように静寂な環境の中で、主に高校生が利用していました。“原公園” “城山公園” “安土倍神社境内の公園”には、利用者は見当たりませんでした。“野沢体育センター”的駐車場に二人の児童が遊んでいました。声かけをすると、小学生の姉弟で、「友だちと待ち合わせをしている」とのことでした。“旧大沢小学校” “取出町ふれあい公園”には、利用者は見当たりませんでした。

11月13日（木）

18班（K・E）記

巡回経路 浅科支所 → 自動車学校 → 浅科児童館 → 浅科支所

活動の様子

11月に入り、寒さもひとしお身にしみる街頭補導活動でした。事前の話し合いで、最初に自動車学校を訪ることになりました。2名の職員に訪問の趣旨を話し、自動車学校の校長さんに対応いただきました。「以前は高校生が自動車学校の裏で喫煙をしていたという話もありましたが」と切り出すと、「今は喫煙の問題も含め、まったくそのような問題はない」と話していただきました。今後の問題行動対処についてお願いし、次の浅科児



童館へ向かいました。浅科児童館では、多くの児童が館長さんを中心に、館庭で元気に遊んでいました。巡回中に子どもたちと出会う機会がまれなこの地区で、子どもたちの活気に満ちた姿に触ることができました。11月から巡回時間が午後3時半からとなりました。日没も早くなり、巡回が終了する4時半には薄暗くなり始めます。日没が午後7時ころだった夏の日を思いながら巡回を終えました。

11月14日（金）

1班（K・M）記

巡回経路 大型ゲームセンター → 生涯学習センター → 野沢多目的広場
→ 大型ゲームセンター

活動の様子

本日、野沢小学校では公開授業があり、3時間授業だったようで、生涯学習センターと野沢多目的広場には、大勢の小・中学生がいました。生涯学習センターの『つどいの広場』にいたのは主に中学生で、20人ほどの児童生徒らが勉強したりゲームをしたりしていました。とても楽しそうで、このような場所があることはとても良いことだと思います。野沢多目的広場では、『人工芝エリア』で大勢の中学生がサッカー・テニス・野球などをしており、とても良い光景でした。『落書きウォール』があることにも驚きました。『すべる坂』で遊んでいる子どもたちは、とても楽しそうでした。生涯学習センターと野沢多目的広場を今回初めて訪問させていただきましたが、整備が行き届いており、子どもたちが安心して過ごせる場所であると感じ、感動しました。

11月17日（月）

11班（Y・T）記

巡回経路 生涯学習センター → 野沢多目的広場 → 原公園 → 城山公園
→ 泉団地内の公園 → 泉野団地内の公園 → 生涯学習センター

活動の様子

風は強いものの、寒さを感じない午後でした。生涯学習センターのつどいの広場には、8名ほどの利用者がありました。小学生が2名、中学生が1名と、いつもに比べ、子どもが少ないのには驚きました。多目的広場では、交流施設で3年生の女子児童が、算数の学習をしていました。屋外の『すべる坂』では、大勢の小学生が、歓声を上げながら白いコンクリートの坂を滑り降りていました。原公園、城山公園に人影はなく、時折吹く強い風に落ち葉が舞っていました。泉団地内にある公園には、小学生5人が遊んでいました。グローブとバットを持った小学生に話しかけ、専門補導委員がキャッチボールをしようと誘うと、笑顔を見せてボールを投げ始めました。口数の少ない子どもでしたが、上手だとほめてやると、嬉しそうに笑って頭を下げました。大谷選手の影響か、子どもたちに野球人気が復活していると感じました。生涯学習センターにもどると、駐車場には多くの車が止まっていました。市の職員にその訳をうかがうと、「本日の夜、宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也さんとの交信イベントが川上村でおこなわれ、生涯学習センターからバス3台でイベント会場に向かう」とのことでした。生涯学習センターのつどいの広場などに子どもの姿が少なかったのは、きっとそのせいかもしれないと思いました。



11月18日（火）

15班（E・T）記

巡回経路 中込会館 → 平賀新町公園 → 佐久総合運動公園 → 成知公園
→ 橋場公園

活動の様子

巡回日にもよりますが、本日は、公園で遊ぶ子どもたちは少ないと感じました。成知公園では、5名ほどの子どもがいましたが、寒さを感じさせず、友だち同士で遊んでいました。日が落ちないうちに帰るように促しました。橋場公園では、10名ほどの子どもたちが指導者の下で遊んでいました。季節も寒くなつたため、外での子どもの遊びは少ないようです。

11月19日（水）

7班（H・K）記

巡回経路 浅間会館 → 中央公園 → 鼻顔公園 → 駒場公園 → 中央図書館

活動の様子

浅間会館に集合して活動開始しました。まず、中央公園に行くと、小学生の女の子が8名ほど遊んでいました。その中の3人組の5年生の女の子に話しかけると、いろいろと要望が出て驚きました。「帰る時間が分かるように見やすい時計が欲しい」、「トイレの環境を良くしてほしい」、「公園の真ん中にある木でクリスマスの飾りつけをしてほしい」と次々と出てきました。こういう子どもの要望はどこに申請すれば良いのでしょうか。次に鼻顔公園に行くと、下平尾から来たという親子連れがすべり台で楽しそうに遊んでいました。こちらの公園の鉄棒には、一部、公園緑地課の使用禁止のテープが貼られていたが剥がされており、いつ修理されるのかなと思いました。今回、公園では天気が良かつたためか、今までの見回りの中で一番利用者がいました。最後に駒場公園に行きました。公園では犬の散歩をしている小学生の親子や、テニスコートでは中学生の男子生徒が練習をしていました。図書館に入ると、一階は大人の方が多かったですが、2階の学習室では、中学生男子生徒が別々に勉強していました。2人とも3年生ということで、受験勉強でもしていたのでしょうか。今回の補導活動も問題なく無事に終了しました。

11月20日（木） 学校訪問（臼田小学校）

17班（I・K）記

概要

今日は、臼田小学校を訪問し、教頭先生から児童の学習や生活の様子をお話しいただきました。夕刻なので、校舎内に児童はいませんでしたが、校舎に入る前に出会った児童は、挨拶がよくできていると思いました。学校の活動で驚いたのは、2年生がヤギ小屋を作ったり、秘密基地を作ったりしているというお話をしました。私の小学校時代といえば、近くの田んぼでイナゴ採りをしたことが記憶に残っています。また、運動会は9月に行っていましたが、今は6月に実施している方がいました。小学校の統合により、遠方から通学する児童のために、スクールバスが運行されているようですが、新たな環境の中で、さまざまな課題をひとつずつ解決し、楽しい学校生活を送ってほしいと思いました。



11月21日（金）

13班（K・H）記

巡回経路 中込会館 → 成知公園 → 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園
→ 佐久城山児童館

活動の様子

早朝は氷点下まで冷え込みましたが、日中は小春日和の穏やかな天候となりました。巡回が始まるころにはやや気温も下がり始めましたが、成知公園では、小学6年生の児童6名が、元気にサッカーをしていました。「2日前まで、インフルエンザで学級閉鎖だったため、友だちと会えずにつまらなかった」と話してくれました。ベンチに座って楽しそうに話している小学3年生の女子児童は、今流行っているシール帳を見せてくれました。シール帳を見せ合ったり、時にはシールを交換したりするのだと教えてくれました。4時を過ぎ、寒くなってきたので早めに帰宅するように声をかけ、別れました。佐久城山児童館は、大勢の児童が利用しており、いつもは170人から180人ほどが来ているということです。「今日は6年生の修学旅行や、インフルエンザの流行のため、120人ほどが来ている」とうかがいました。入館、退館の際は、児童が名簿に記入するのが原則で、保護者への引き渡しなど、退館時は特に気をつけていると話していただきました。



11月25日（火）

6班（H・S）記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 砂田公園 → 若宮公園
→ 大型スーパー

活動の様子

本日は補導活動として、大型スーパーに集合し、市民交流ひろば、砂田公園、若宮公園の後に、大型スーパー内を巡回しました。雨上がりで気温も低かったためか、いずれの公園にも遊んでいる児童や、公園に留まっている者は見られず、特段の異常は確認されませんでした。その後、ショッピングセンター内の状況を巡視しました。ゲームコーナーでは、数名の小学生が母親同伴で遊んでいる様子が見られましたが、特に問題となる状況は認められませんでした。フードコートでは、期末試験期間中ということもあり、いつもより多くの高校生が学習目的で席を占めている様子が見られました。フロアは混雑していたものの、騒がしいなどの迷惑行為はありませんでした。以上のとおり、本日の補導活動は概ね平穏でした。

11月26日（水）

8班（Y・K）記

巡回経路 浅間会館 → 中央公園 → 鼻顔公園
→ 大型スーパー内フードコート → 駒場公園

活動の様子

今月より巡回は冬時間になりました。中央公園では初めて子どもの姿を見ました。小学5年生の女子児童3人組がブランコで遊んでいました。巷では今年は例年になく早くにインフルエンザが流行っているようで、その辺りを尋ねると、やはり先週は学級閉鎖だったようです。別的小学1年生児童の2人組からも同様に学級閉鎖があったとのことでした。

鼻顔公園では2歳くらいの子を持つ親子2組に会いました。補助輪のない自転車を上手に乗りこなしていて驚きました。また、若いお父さんと小学1年生男子児童がサッカーをしていました。こちらもかなり上手で、将来が楽しみだと感じました。大型スーパー内のフードコートでは、中学1年生の女子生徒3人組が、これから宿題をやることでした。話を聞けば、やはりインフルエンザが流行っているとのことでした。高校生女子生徒2人組は、将来の進路で少々悩んでいるようで、何とかがんばって乗り越えてもらいたいなと思いました。最後は、駒場公園。この時間になると日も落ちて、気温がどんどん下がっていくイメージです。ここでも小学4年生2人組がベンチで休んでいました。歩いて来たそうです。暗くなるので早めに帰るように促してその場を後にしました。

11月27日（木） 学校訪問（岸野小学校）

10班（K・T）記

概要

専門補導委員2名と学校訪問にうかがいました。応接室で教頭先生・生徒指導係の先生2名と意見交換を行いました。冒頭、校長先生の挨拶では、25年前に本校に勤務し、今回2回目の赴任で、当時の教え子が児童の親となり、その子どもを教えているとのことでした。なお、当小学校は佐久市で一番小さな学校で、児童は落ち着いた生活を送っているとのお話がありました。自己紹介後、専門補導委員より「少年センターの活動概要」について説明がありました。その後、教頭先生、生徒指導係の先生と懇談を行いました。教頭先生より、当小学校のモットーは、「かしこく・やさしく・たくましく」であることや、児童総数122名で、各学年1クラス編成のことでした。地域との連携では、地域・親御さんのボランティア活動が活発で、マラソンコースの除草、側溝清掃、登校時の見守りなど、幅広くご協力頂いているとのことでした。また、地域のボランティア指導員の下、放



課後学習を行っており、35名ほどの児童が参加しているとうかがいました。児童の特徴としては、素直で穏やかな子どもが多い半面、苦労を口にする前にへこたれてしまい、不調を訴える子どもも少なくないとのことでした。児童の自主性を尊重し、自分たちがやりたいことをやらせるように配慮した教育を推進しているようです。生徒指導の面では、野沢の生涯学習センターのように、放課後子どもたちが集まる場所がなく、家庭や友達の家でゲーム等をやっている児童も少なくないようです。学校ではSNSによる問題やトラブルも把握しており、毎年SNS関係の研修会を行い、子ども同士のトラブルには、早めに対応し解決するようにしているとのことでした。

11月28日（金）

16班（I・K）記

巡回経路 あいとぴあ → 下越児童館 → 田口児童館 → 五稜郭公園
→ 青沼児童館

活動の様子

めっきり冬めいた気候となり、日が陰ると肌寒さを感じる時節となりました。久しぶりに下越児童館にお邪魔し、現在の利用状況や課題点などについてうかがいました。私たちが訪れた時間帯は、1, 2年生が利用しており、7名ほどの児童が児童館の先生と宿題に



励んでいました。4時を過ぎると上級生が来館し、20名を超える利用者があるようです。次に、田口児童館にお邪魔しました。田口児童館も、うかがった時間帯が早かったこともあり、利用者は1、2年生のみでした。17名ほどの児童が館内や中庭で元気に過ごしていました。寒い中庭では、砂遊びや、サッカーをする楽しそうな子どもたちを見守る職員の皆さんをねぎらいました。両児童館とも、問題は発生していないことですが、子どもたちの健康、安全にご配慮いただき感謝いたします。青沼児童館は、「臼田小学校」と「さやか星小学校」の児童16名ほどが利用していました。インフルエンザが流行しているとのお話でしたので、館内にお邪魔することを控え、玄関でお話をうかがって館を後にしました。インフルエンザの流行が早く収まる事を願います。

11月の活動を終えて 「菜時記（さいじき）」 専門補導委員（S・H記）

師走の声を聞き、菜園の「畠じまい」に出かけた。とはいっても、「墓じまい」ではないので、来年の春までのごく短い期間、畠を閉じようというわけである。

先月、資材を撤去し耕耘した畠には、たまねぎの苗が数十センチほどに育ち、真冬に備えて身を固くしているように見える。今年もこの畠にはずいぶん楽しませてもらった。キュウリにナス、トマト、オクラにシットウ。最近はダイコンも収穫した。ジャガイモやタマネギは、まだかなりの量が保存されている。大量に収穫したナスは、未だに食卓をにぎわしている。

我が家の中庭は、道路に面しているとはいえ、大きなケヤキの木々に覆われている。そのため秋になると、おびただしい落ち葉が畠に積もることになる。落ち葉を集め堆肥にしたこともあるが、このところ、落ち葉を集め燃やすことにしている。落ち葉を箕(み)で集めるのは手間のかかる作業であるが、ブルーシートに集めて、ゆっくり引つ張って運搬する方法だと、かなり能率的に落ち葉を集めることができる。

山のように集まった落ち葉に火を付けた。風のある日には火を燃やしてはいけない。このことは、身をもって体験した教訓である。今日は風がない。全国的に高気圧の圈内である。落ち葉焚きには絶好だ。もうもうと立ち上る煙をしばらくながめながら、温室効果ガスを発生させている落ち葉焚きという行為に、多少後ろめたさを感じていた。火の勢いが増し、パチパチと音を立てた。上昇気流に乗って炭化した木の葉が上空に舞い上がった。ふと昔学んだ炭素循環という言葉が思い浮かんだ。炭素が燃えて二酸化炭素になり、植物は光のエネルギーを利用して、空気中の二酸化炭素と水から糖と酸素を作り出す。地球温暖化では二酸化炭素がやり玉に挙げられるが、炭素の循環なくして私達は生存できない。水の存在、太陽光、炭素循環、私達はこの奇跡ともいえる精緻な自然のメカニズムの恩恵に浴していることを忘れがちだ。

火の勢いが收まり、火を燃やし始めてすでに3時間ほどが経った。気を利かせて、妻がおこびれ(農作業中のおやつ)を届けてくれた。太陽のぬくもりが感じられる午後である。家の中にいてはこの暖かさや陽光を感じることはできなかった。お茶をすすり、ふと足下に目をやると、オオイヌノフグリが薄紫の花を付けていた。オオイヌノフグリといったら早春に花を咲かせる植物のイメージだが、師走の野にこんな発見があるとは意外だった。

日も傾き、大量の落ち葉は、驚くほどコンパクトな灰に凝縮された。衣服に染み付いた煙の匂いが今日の作業の証である。さて来年はどんな作物を育てようか、皮算用を始める。今まで作ったことのない珍しい野菜を作つてみようか。いや、待てよ、来年は欲張らずに、体力や時間に余裕を持たせることが先決か。そんなことを考えながら火の後始末をした。

本年は大変お世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。